



家康と安城

～大河ドラマ「どうする家康」
を楽しむために～

今回のテーマ 家康と安城城

来年の大河ドラマは、松本潤さん主演で徳川家康の生涯を描いた「どうする家康」です。そこで全4回のコラムで、家康の人生と関わった安城の歴史について紹介します。

第1回は、「竹千代(後の家康)が織田の人質から解放されるきっかけとなった安城合戦(安城城争奪戦)」です。

歴史博物館の隣にある大乗寺とその周辺には、徳川家康を輩出した安城松平家の居城・安城城(※1)がありました。家康の6代前にあたる岩津城(岡崎市)の松平信光がこの城を攻め取り、子の親忠を城主に据え、初代としました。次の長忠の時代には、松平氏のなかのリーダーである惣領家としての地位を固めます。

その後、信忠、家康の祖父にあたる清康と続き、清康の代に岡崎に移りました。



安城城跡(現大乗寺)

安城城が家康の人生と関係するのは、家康の父、広忠の時代です。1540年、尾張の織田信秀(信長の父)が三河へ攻め入り、安城城を奪い取ります(第1次安城合戦)。この戦いで、松平軍は多数の犠牲者を出すとともに、清康が造営した大岡白山神社が焼失したとされます。また、安城コロナワールド前の富士塚は、この時の犠牲者を弔った塚と伝えられます。

その2年後の1542年に、松平竹千代、後の家康が岡崎城で誕生しました。

広忠は、安城城を奪い返そうと1545年に攻撃しますが、失敗します(第2次安城合戦)。この後、広忠は駿河(静岡県中部)の今川義元に援軍を要請したと考えられ、その見返りとして竹千代を人質とし

図▶文化振興課(☎77)4477)

て差し出すことになりました。ところが、竹千代は駿河に向かう途中で奪われ、織田の人質となってしまいます。

1549年に広忠が暗殺されると、今川義元は太原雪斎を派遣し、松平軍を従えて安城城を攻めます(第3次安城合戦)。何度かの攻撃の後、安城城を奪還するとともに、城代を務めていた織田信広(信長の兄)を生け捕りにしました。その後、安城城の西の「西野」(※2)で、竹千代は信広と人質交換され、岡崎城への帰還を果たすことになったのです。



富士塚

(※1)安城城の名称については、戦国時代の記述や呼称に従い「安城城」としています。史跡名になっている安祥城は江戸時代からの名称です。(※2)安城城の西に広がる原野のこと。後の「安城が原」を含む碧海台地南部一帯に相当します。

つかう.meet.FES ～青空の下、外でみんなで活動しよう!～

つかう.meet.FESは、三河安城駅周辺で「自慢のまちをつくる!」大きな目的のもと、地域の活動者で構成するプレイヤー集団「つかう.meet」が主催する共同活動型社会実験です。



- 内容 B.LEAGUE2022-23シーズン開幕節(シーホース三河VS名古屋ダイヤモンドドルフィンズ戦)パブリックビューイング、3×3バスケットーナメント、eスポーツ、スラックライン、モルック、スケートボード、キッチンカー出店等

- 日時 10月1日(土)午前10時～午後5時
- 場所 三河安城矢総公園(三河安城駅在来線南口と新幹線北口の間)の芝生広場周辺)
- 問合せ つかう.meet事務局(株)カンドタカメ/☎(74)3298、市都市計画課(☎71)2243)

詳細はQRコード参照▶▶



定刻通り
Teikoku-dori Ave.